



# パナソニックモバイルコミュニケーションズ（株） 健康・安全衛生活動事例

- 安全
  - STOP転倒災害プロジェクト
- 衛生
  - 暑熱作業対策
- 健康づくり
  - 喫煙対策

- 安全

- STOP転倒災害プロジェクト

- 衛生

- 暑熱作業対策

- 健康づくり

- 喫煙対策

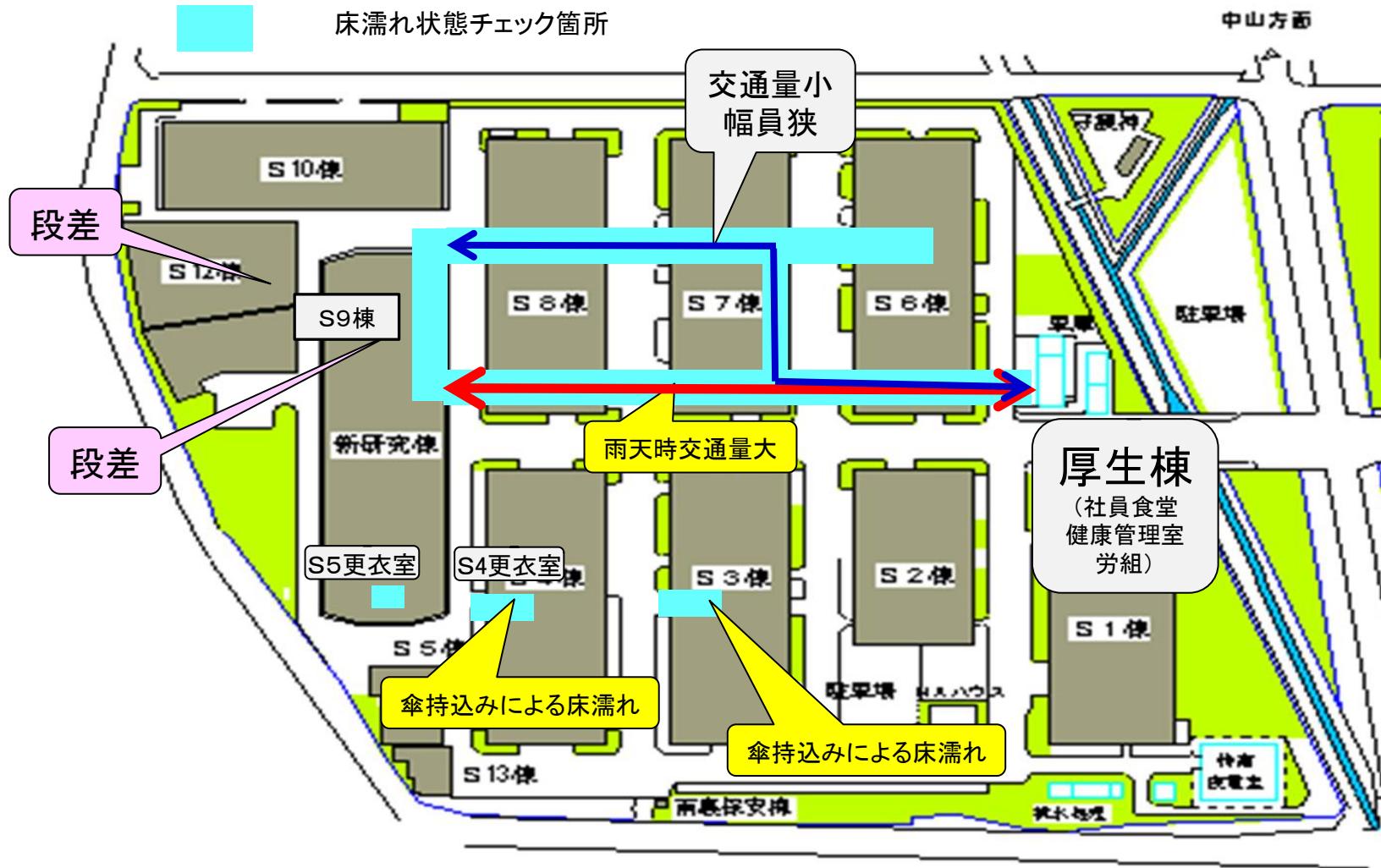


啓発



環境改善

# 「転倒災害防止」パトロール



# パトロール結果

- ・7月6日（月） 13：40～14：00
- ・S3,S4,S5,S6,S7,S9各棟の出入り口周辺
- ・衛生管理者
- ・朝から雨



S2棟北口  
保安側からの階段の上に  
**傘持込**による水滴のあと



## 吸水性の高いマットの追加

渡り屋根下に水溜りができる場所を、昼休みの短時間に多くの人が通る一方、十分に拭き掃除ができない



雨天に通常の足拭きマット（青）に加え、吸水マット（緑）を敷いているが、この大きさだと、**歩数にして1歩**なので、片方の足裏を拭うだけ。昼休みはたいへん混雑するので「足踏み」はしてもらえない。また、**交通量が多すぎる**ので、**この時間（11：30-13：30）にはふき取り掃除ができない**。

（7/1のパトロールを行なった14：00頃は、ふき取り掃除ができて、ドライになっていた）



十分な吸水能力のあるマットを数メートル敷く

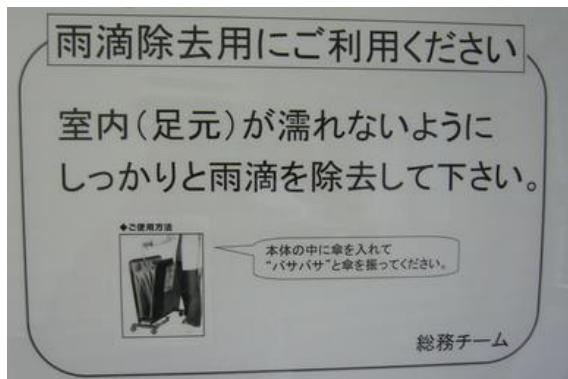
# 転倒災害防止対策2 床濡れの低減（傘の水きりの徹底）

## 各棟出入り口に傘振り場の設置

傘振り場が設置されている場所の周辺では床濡れが発生していない。



## 傘振り場での水切りの徹底



# 転倒災害防止対策3 段差の解消

S9正面

before



after



N8北通用口



# 通勤災害防止マップの作成・配布

- 「地区安全衛生責任者会議」で共同作成
- J R 鴨居駅-会社間の危険箇所を洗い出し



鴨居駅と会社の間の通勤路の危険を「現場主義」で洗い出し

# 佐江戸・池辺 通勤災害防止マップ

調査・作成 2015年3月 パナソニック横浜地区安全衛生責任者会議

会社周辺の要注意地点です。  
注意して、事故を防ぎましょう。

要ミラー確認！



横断歩道なし  
横断禁止！



埋設物あり  
つまづき注意！



道幅狭く  
車の通行量多数



右左折車注意！



下り坂の転倒多発！  
極力通行しない



道幅狭く  
車の通行量多数



鶴見川

出会い頭の衝突  
注意！



← 至 八王子

階段下の  
出会い頭の衝突  
& 転倒注意



至 新横浜 →

鴨居駅



階段下屋根が切れた所は  
雨天時滑る！転倒注意！



マンホールのフタ  
雨天時滑る

敷石が劣化して凸凹！  
転倒注意

Panasonic

STOP!

# 転倒災害

あせらない。  
急ぐときほど、落ち着いて。

「STOP!転倒事故チェックリスト」

- ・時間に余裕をもって行動し、通路を走ったりしていませんか？
- ・身の回りの整理、整頓を行い、通路、階段、出口に物を放置していませんか？
- ・ケーブルなどが通路を横切る配線になっていませんか？
- ・床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか？
- ・安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか？
- ・荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか？
- ・ポケットに手を入れながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか？
- ・ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか？
- ・通勤の際は路面凍結に注意していますか？
- ・自分の通勤路で注意すべき場所(段差、死角など)を把握していますか？

廊下走らない  
階段は足元注意  
歩きスマホ禁止

STOP!

# 転倒災害

あせらない。  
急ぐときほど、落ち着いて。

佐江戸・池辺 通勤災害防止マップ

調査・完成：2016年3月 JTENECON横浜地区安全委員会実行委員会

Panasonic

# 通勤災害防止マップの作成・配布

- 「地区安全衛生責任者会議」で共同作成
- J R 鴨居駅-会社間の危険箇所を洗い出し
- 通勤路に不慣れな転入者の多い4月にHP掲載
- マップを例に各自通勤路の危険箇所を認識するよう呼びかけ

▶ TOP

**災害情報**

- PSN労働災害
- PSN通勤災害
- PSNグループ災害情報報
- パナソニックG 不休・休業災害情報

**健康情報**

- 健康マツ知識
- 熱中症対策
- 生活習慣病
- 口コモティブシンドローム

**産業衛生レポート**

- 2014年度 産業衛生レポート
- 2013年度 産業衛生レポート

**What's New!**

7月15日 6月度「[安全衛生委員会](#)」佐江戸地区の議事録・報告資料を掲載しました。

6月23日 6月度「[安全衛生委員会](#)」AVC横浜地区の議事録・報告資料を掲載しました。

6月度「[安全衛生委員会](#)」佐賀地区の議事録・報告資料を掲載しました。

5月度「[安全衛生委員会](#)」福岡地区の議事録・報告資料を掲載しました。

**Announcement**

6月24日 「[全国安全調査 津賀社長メッセージ](#)」を掲載しました。

5月26日 「[各個人への「健康リスク区分」](#)」を掲載しました。

4月7日 「[佐江戸・池辺 通勤災害防止マップ](#)」を掲載しました。

2月26日 【注意喚起】[転倒事故を防ぎましょう](#)

12月4日 「[行動災害事例集](#)」を掲載しました。

「[設備災害事例集](#)」を掲載しました。

12月2日 【注意喚起】[カッターによる業務災害の防止について](#)

11月4日 【注意喚起】[挟まれ・巻き込まれ重篤災害](#)

8月29日 【注意喚起】[パソコンからの発煙について](#)

6月13日 「[高所作業ルール\(PSN横浜地区\)](#)」を掲載しました。

5月8日 【注意喚起】[ドア関連事故について](#)

**チーム対抗  
ウォーキング大会**

**安全衛生規定・ツール**

- 安全衛生ルール
- 自転車安全ルール
- 運搬作業マニュアル
- 危険物庫マニュアル
- 労災時の情報収集
- 安全衛生教育資料
- 防災管理規定
- 危険物保管管理票
- 職場巡回チェック

**安全衛生方針**

**安全衛生委員会**

**安全衛生担当者**

**P健康保険組合**

# 通勤路 危険地点の改善 2017/2/14 巡視

場所：鴨池人道橋のたもと

課題：橋と土手の継ぎ目に段差ができている。

年々段差が大きくなりつまづきやすい状態になっている。

要求：段差埋めを要望した

**Before**

2015.3.5.



**After**

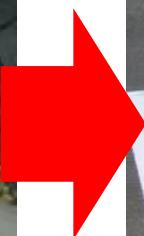
2017.2.14.



段差ができている

段差がアスファルトで埋まっている

# 通勤路 危険地点の改善

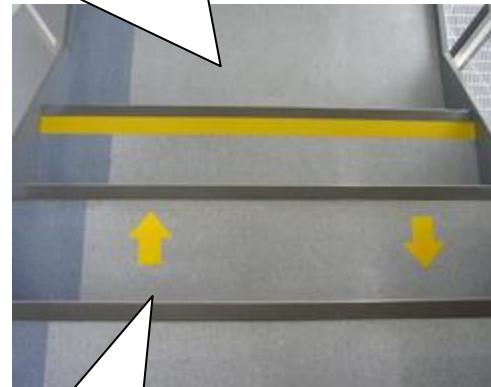


# 階段転倒防止の取り組み

下り最後の一級の注意喚起



注意喚起ポスター  
(中央階段)



左右通行区分



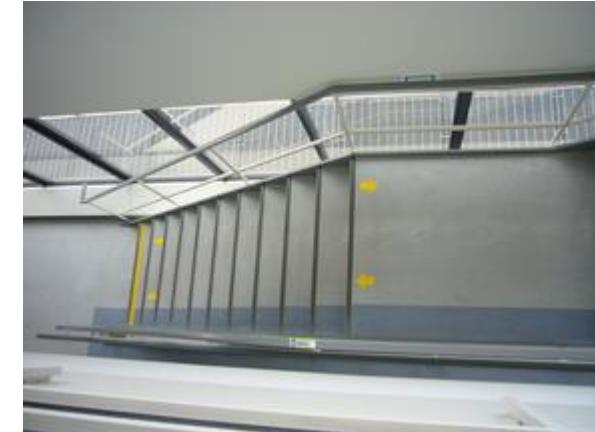
手すり使用の呼びかけ



西側



中央



東側

# 「歩きスマホ」禁止PR活動 朝の出勤時の呼びかけ

- 日程：9/28 8:15-9:00
- 内容：オリジナルティッシュ(社内デザインセンター制作)を配布・声かけ
- 場所：佐江戸南北正門、通用門



- 安全

- STOP転倒災害プロジェクト

- 衛生

- 暑熱寒冷作業対策

- 健康づくり

- 喫煙対策

## ● 恒温槽にヒトが入る暑熱・寒冷環境作業が発生

- 携帯型端末、P Cなどの開発・品質評価
- 暑熱（55°C）、寒冷（-15°C）の恒温槽内作業
- 守口・神戸拠点での先行取組み
  - ✓ 安全作業の基準を作成、安全教育を実施



## ● 該当作業が拠点を越えて展開

- M S B D横浜拠点でも同様の作業を検討との情報をキャッチ

## ● 暑熱・寒冷作業のリスクの客観評価の必要性

- 先行取組みを参照しつつ、汎用性のある作業基準として整備が必要
- リスクアセスメント実施の検討

## 総合リスク（RL）の評価

- 暑熱環境レベルと作業強度、衣服・装備レベルとを組み合わせて、表5により総合的なリスクを評価する。なお、職場や作業の条件として次の事項が一つでも存在する場合には、総合リスクを1段階上げる。
  - I. 暑熱な作業を直前の1週間以上実施していなかった場合(作業順化をしていない場合)
  - II. 1時間を超える連続作業で、作業者が自らの判断で小休止を取ることができない場合
  - III. 職場に水分・塩分（ナトリウム）が準備されていない場合

作業強度 衣服・装備レベル	暑熱環境レベル WBGT値			
	EL 1 25℃未満	EL 2 25~28℃未満	EL 3 28~31℃未満	EL 4 31℃以上
1	I	I	II	III
2	I	II	III	IV
3	II	III	IV	V
4	III	IV	V	V
5	V	V	V	V

表-5 総合リスクの評価

総合リスク（RL） I = 些細なリスク  
 総合リスク（RL） II = 軽度のリスク  
 総合リスク（RL） III = 中程度のリスク  
 総合リスク（RL） IV = 大きなリスク  
 総合リスク（RL） V = 非常に大きなリスク

# リスクアセスメントの例

実施日	2017/6/29(木)	実施者	
作業場名	ものづくり管理部	作業内容	携帯端末暑熱試験
場所	S7-2F	発熱源	恒温槽
服装	半そで作業服、長ズボン	天候	晴れ

## 1.暑熱環境レベル

WBGT値	51
気温	50 °C
相対湿度	60 %



EL4

## 2.作業強度のレベル

座作業	ML1
歩行程度の作業	ML2
速歩程度の作業	ML3
階段昇降程度の作業	ML4
途中で会話ができない作業	ML5



ML1

↑  
左表の該当するレベルを選択

## 3.衣服・装備レベル

薄手の半そで作業着と長ズボン相当	IL1
薄手の長そで作業着と長ズボン相当	IL2
厚手の長そで上着と長ズボン相当	IL3
水蒸気を通す化学防護服	IL4
水蒸気を通さない化学防護服	IL5



IL1

↑  
左表の該当するレベルを選択

# リスクアセスメントの例

## 4.作業強度、衣服の装備レベル

	ML1	ML2	ML3	ML4	ML5
IL1	1	1	2	3	4
IL2	1	2	3	4	5
IL3	2	3	4	5	5
IL4	3	4	5	5	5
IL5	5	5	5	5	5



↑左表の該当するレベルを選択

## 5.暑熱環境レベルと作業強度、衣服・装備レベルによる評価

	EJ_1	EJ_2	EJ_3	EJ_4
1	I	I	II	III
2	I	II	III	IV
3	II	III	IV	V
4	III	IV	V	V
5	V	V	V	V



↑左表の該当するレベルを選択

## 6.総合リスク評価時の考慮要素の有無

考慮要素
<input type="checkbox"/> 暑熱作業を直前の一週間以上していない
<input type="checkbox"/> 1時間を超える連続作業で、作業者が自らの判断で小休止をとることができない
<input type="checkbox"/> 職場に水分・塩分(ナトリウム)が準備されていない

↑一つでも該当があれば、4のレベルを1段階UP



総合リスクI=些細なリスク  
総合リスクII=軽度のリスク  
総合リスクIII=中程度のリスク  
総合リスクIV=大さなリスク  
総合リスクV=非常に大きなリスク

## 7.リスク低減策

横浜地区安全衛生委員会の暑熱作業3管理ルールを遵守。具体的には、以下のとおり。

曝露時間をできる限り短縮する。特に、55°C環境では、連続作業時間上限を15分までとする。

恒温槽の横に休憩場所を設け、扇風機・冷蔵庫を設置し、冷蔵庫内にはスポーツドリンク・冷却パックを常備。

健康診断の結果、リスク区分Cの者は作業させない。

# 暑熱作業基準--恒温槽内作業の安全のための3管理

## ■ 作業環境管理

- 恒温槽作業の環境管理として、**暑熱・寒冷の温度・湿度管理**を行なう
- 有害性評価の指標として、**WBGT指数**を用い、作業の都度測定し、所定の記録を3年間保存する
- 恒温槽の**管理者名（正・副）**を表示する
- 恒温槽の**異常動作時の連絡先**を表示する
- 作業後・作業間の休憩場所を整備する（暑熱の場合は冷蔵庫、扇風機などを備える）
- 下記の健康管理のために、**体温計**を備える

## ■ 作業管理

- WBGT基準値と身体作業強度により、**連続作業時間を制限**する
- 暑熱作業では**水分補給・塩分補給**の指導を徹底する
- 作業ごとに**作業者名・作業内容・時間を記録**する
- 暑熱作業（通気性）・寒冷作業（防寒）に応じた**服装**をさせる
- 作業中は恒温槽外に**内部を観察する者**をおき異常事態に備える

## ■ 健康管理

- 暑熱・寒冷とも**作業者を特定**し、「特定業務従事者（暑熱・寒冷）」として**6ヶ月以内ごとに健康診断を受診させる**。健診の結果が**健康リスク区分C**あるいは、糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全などの、**異常所見**がある者、または、この**健診を受診しない者**は作業をさせない
- 作業日ごとに**作業開始前の体調を確認し、記録**する。疲労感・睡眠不足・下痢・二日酔い等があれば上司に申し出て作業を中止もしくは負荷軽減する
- 心拍数の異常な上昇、作業後の体温が作業開始前の体温に戻らない場合、急激で激しい疲労感、恶心、めまい、意識喪失などの症状が発現した場合はただちに**作業を中止**し、**健康管理室に連絡**し指示を仰ぐ

## ● 曝露時間の短縮

- ◆ 55度では最高でも15分以内

## ● 安全教育の実施

- ◆ 热中症の症状
- ◆ 热中症の予防方法
- ◆ 緊急時の救急措置
- ◆ 热中症の事例
- ◆ ふだんの体調管理・休養、睡眠、飲酒等

## ● 健康診断の実施

- ◆ 6ヶ月以内ごとに受診
- ◆ 受診結果が「C区分（リスク高）」は作業させない



## ● 休憩場所の整備

- ◆ 冷蔵庫、扇風機などを備える
- ◆ 冷蔵庫内にスポーツドリンク、冷却パックを備える

## ● 適切な作業服の準備

- ◆ 暑熱作業（通気性）・寒冷作業（防寒）に応じた服装をさせる
- ◆ 健康管理のために、**体温計**を備える



- 安全

- STOP転倒災害プロジェクト

- 衛生

- 暑熱作業対策

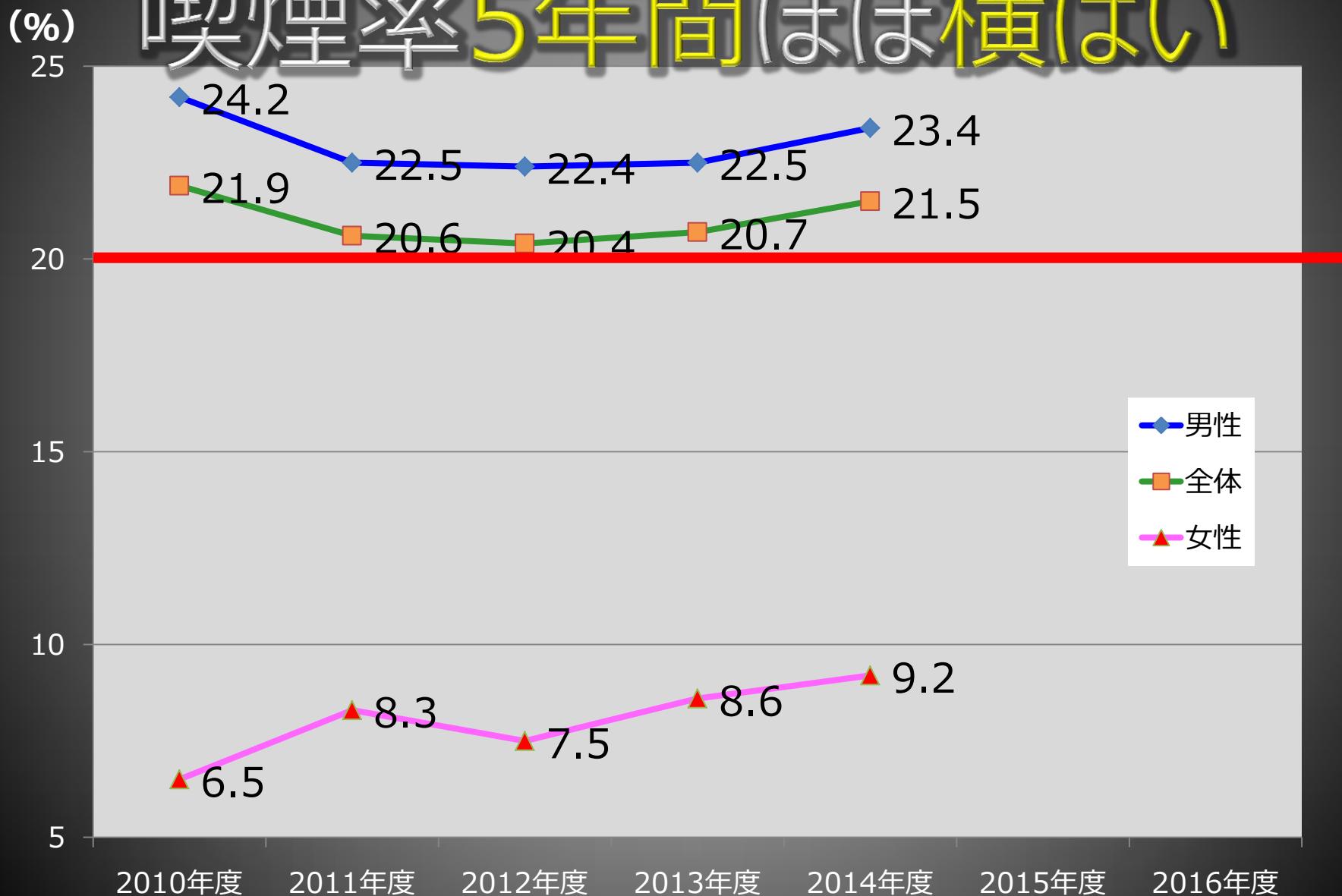
- 健康づくり

- 喫煙対策

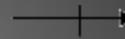
# **喫煙対策 3カ年計画の挑戦**

27箇所の屋内喫煙所全廃による  
禁煙推奨と受動喫煙防止の推進

# 喫煙率5年間ほぼ横ばい



# タバコの楽園 佐江戸



1フロアに  
1箇所以上

屋内 **27** 箇所  
屋外 2 箇所

冷暖房  
完備

A1率  
100%

# 喫煙室内の煙の濃度は非常に高い

- 自分や他人が吐いた煙・副流煙が濃厚に充满



隠れ受動喫煙

- 普通の喫煙+（喫煙者自身の）受動喫煙=最悪の喫煙行為
- サードハンドスマーカー（Third hand Smoke）

# コンセプト

屋内喫煙所を廃止することで

禁煙を促進する

「受動喫煙」を排除する

経営にとって合理的な選択をする

# 体制

## 人事・安全衛生、 総務・施設

- ・情報収集
- ・計画の企画、立案、オーソライズ、周知
- ・計画の実施
- ・計画の進捗管理、評価

## 安全衛生委員会 (労使)

- ・意見集約
- ・計画進捗のチェック

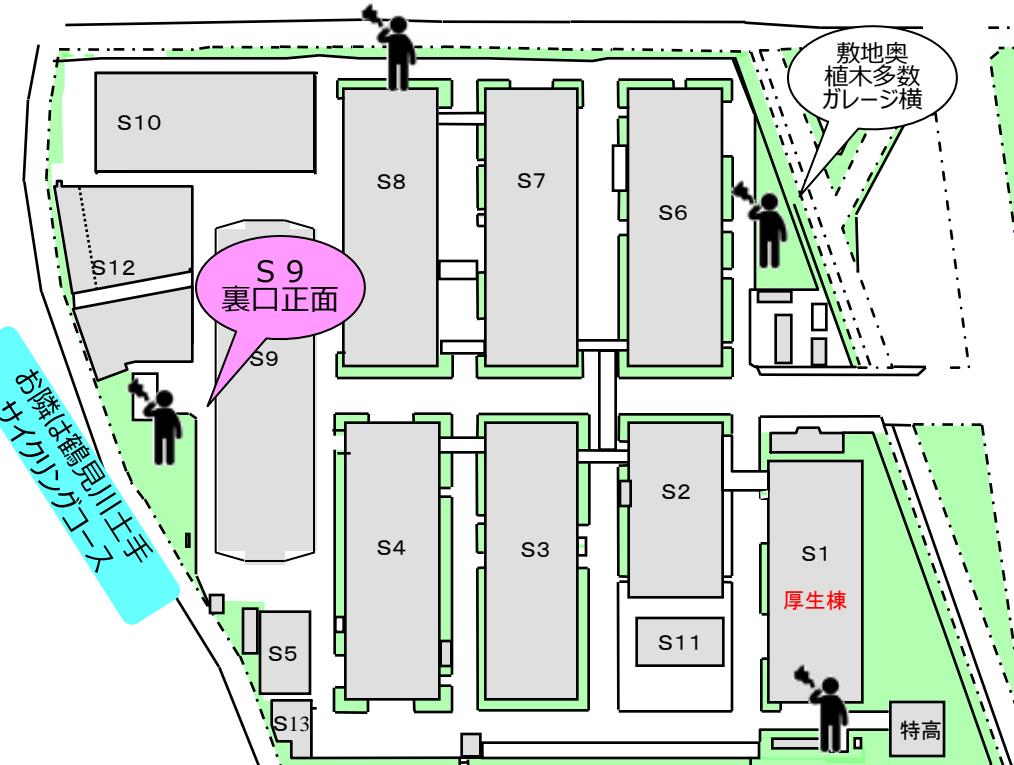
## 産業医/健康管理室スタッフ

- ・情報収集
- ・計画の企画、立案、及び評価への協力
- ・禁煙希望者からの相談への対応と指導
- ・禁煙実行者への支援
- ・従業員に対する情報提供及び教育研修

## Execution

# 屋外喫煙所の設置

お隣は運送会社倉庫



お隣は現状空き地 (AISのテストコース予定地)



総務・施設部門との協働

Execution

# 屋外喫煙所の設置



## Results

# 修正日程

2018年度初頭までに  
喫煙率18%以下達成

FY

~2014

2015

2016

2017

屋内  
喫煙室

27 25

即閉鎖可能な箇所を閉鎖

屋内  
集中

2016年  
5月31日喫煙室  
ゼロ  
達成

屋外  
喫煙所

2

人通りの少ない場所  
に移転

8

合意  
形成

事業部長  
労組幹部  
各社 安全衛生責任者

場所選定

新設可能  
な箇所か  
全廃前倒しの審議  
全カンパニーの合意  
形成

一般への全廃前  
倒しの告知

安全衛生委員会進捗報告  
一般への周知  
喫煙室への計画掲示

10月  
全員アン  
ケート

10月  
全員アン  
ケート

10月  
全員アン  
ケート

安全衛生委員会承認  
一般への周知  
喫煙室への予告

一般への周知  
喫煙室への計画掲示

5月  
禁煙デー  
川柳  
コンテスト

10月  
禁煙デー  
肺機能測定

5月  
禁煙デー  
肺機能測定

10月  
禁煙デー  
川柳コンテスト  
肺機能測定

P R  
キャンペーン

調査・研究

# 三ヵ年計画の進捗と喫煙率の推移

